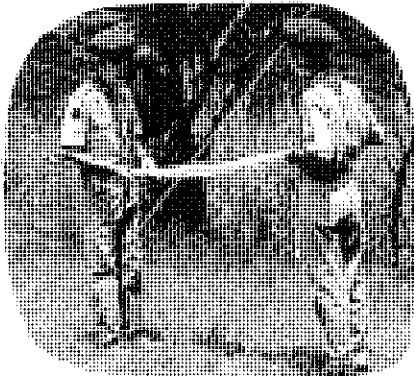




BS隊 オットセイ班

今回のキャンプは自分にとって特別なものだった。なぜならBS隊最後の長期キャンプになるものであったからだ。様々な事を学んだ4年間の締め括りとして、キャンポリーに参加できた事はとても幸せである。そしてこの四泊五日の中で思ったことは「先輩としての自覚」だ。僕の代のスカウトは段々と活動から遠ざかり、辞めていき、今となっては僕一人となってしまった。それにより勿論班長になり、今年にはもうBS隊に後輩しかいなくなったのだが、今まで自分一人で班の事をやろうとしていた。そのため、後輩への技術の伝達や先輩として後輩へしなければならぬことが何一つできていなかった。その事にキャンプの前に気付いて良かったと思ひ、同時に反省した。なので今回は、特に一つ下の学年のスカウトに出来るだけ教えられることは教えてみようとした。それが出来たかどうかはわからないが、少しでも下のスカウトの技術が上がっていればとても嬉しい。そしてその環境を作った水明荘の方々、育成会の方々をはじめ各隊リーダー達や保護者の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして本当にありがとうございました。



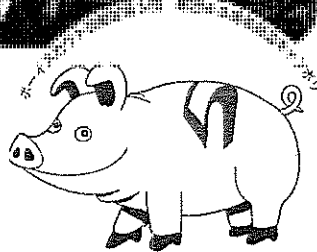
BS隊 オットセイ班

ぼくはボーイスカウトとして初めてのキャンポリーでした。顔にけがをしてしまったのが残念でしたが、たちカマド作り、インディアンかくれんぼ、ペットボトルいかだなど、普段は出来ない事が出来て楽しかったです。

BS隊 トナカイ班

初日は山登りが長くてきつかったです。その夜の肝試しはけっこうびっくりしました。その後、森の中の木と木にロープを結んでブルーシートを上にかけて下にマットを敷いて寝ました。次の日にやったインディアンかくれんぼはすごくおもしろかったです。夜の部は一度も見つからなくてよかったです。その後お風呂で、隠れるためのメイクを落とすのに苦労しました。3日目はボーイスカウト60周年記念キャンポリーでした。原始人風ブタの丸焼きはすごかったです。ぼくはハナとミミとタンを食べました。コリコリとしたかみごたえでした。4日目のキャンプファイアーも楽しかったです。

60周年記念キャンポリー



BS隊 トナカイ班

班長として初めて夏キャンプに参加した。その中で感じたのは、後輩スカウトへの技術の伝達の必要性だ。今回の夏キャンプがBS隊としての最後の活動となる神田君は、キャンプの中で後輩スカウトへの技術の伝達を積極的に行っていたようだ。僕も今の内から出来る限り後輩に火起こしやファイヤーキーパーの役目など、伝えられるものを伝えておきたい。

キャンプそのものは、プログラムがよく考えられていて、楽しいものだった。特に感覚瞑想とインディアンかくれんぼは、「自然に溶け込む」という普段はほとんど体感することのない感覚を味わえて、とてもうれしかった。

ただ、キャンポリーと同時にいったため、全体的に時間の余裕がなかったのは残念だった。来年はその点を改善して欲しいと思った。

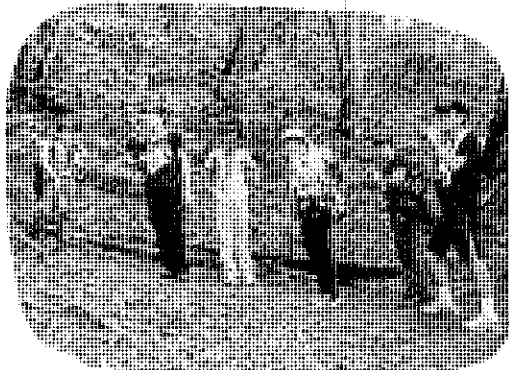
今回は中身が濃く、有意義なキャンプだった。来年は今年以上に楽しみ、努力して、よりよいキャンプが出来るようにしたい。

BS隊 トナカイ班

僕がこのキャンポリーで一番心に残っているのは、選択プログラムの登山の時に、お互いが励まし合って登頂したことです。

このお互いを励まし合って何かを為し遂げるといことは普段あまり無いことなので、いい経験になりました。

今後はこのことを活かし、普段の活動をより良くしていこうと思います。



BS隊 トナカイ班

僕は5泊6日のボーイスカウトのキャンプに、林間学校のため、途中からの参加でした。僕は、一年半ぶりのキャンプで、ついていけるか心配でしたが、2日目にカブをみて、9月になったら、熊がはいってくるのに気づき、9月までに休んでいた分を取り返さないといけないと思いました。

BS隊 カモメ班

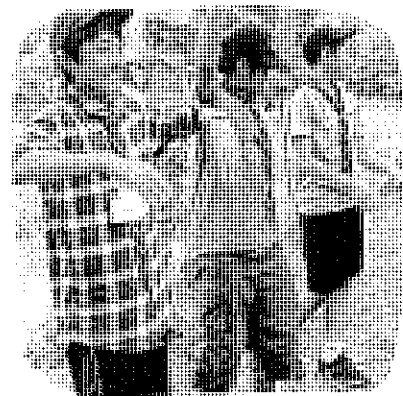
ぼく達ボーイ隊は四尾連湖に4泊5日しました。特に楽しかったのは選択プログラムとキャンプファイアーです。選択プログラムは、ハイキングとツリークライミングです。蟻ヶ岳ハイクは最後の急斜面がきつかったですが、頂上から四尾連湖が見えてきれいでした。キャンプファイアーでは、BSリーダースタンツがおもしろかったです。キャンプとキャンポリーはお祭りのようでとても楽しかったです。

BS隊 カモメ班

今回はキャンポリーが有っていつもより長かったので立ちかまどでご飯を作りました。

ですがその立ちかまどはカブスカウトの子が触っただけで崩れるぐらい弱かったので毎日毎日しなくては使えない状況だったので次回のキャンプでは一回作ったら補強しなくてもいい立ちかまどにしたいです!

今回のキャンポリーは本当に楽しかったです!



BS隊 トナカイ班

ぼくはおくれてきたのでキャンポリーしか参加していないのですが、二年ぶりのキャンプだったのでとても楽しめました。特にツリークライミングが楽しかったです。なぜかという、意外に楽に登れて普段は行けないくらい高いところに行けたからです。あと豚の丸焼きはよくやったなーと感心しました。五年に一度なので、参加できてとても楽しかったです。

ボーイスカウト世田谷5団 60周年記念キャンポリー

○2012/8/3(金)～6日(月) 夏季舎営 山梨県四尾連湖
参加スカウト 23名、指導者 11名
企画担当 清水副長

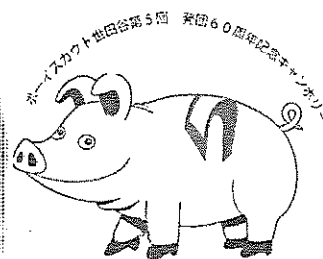
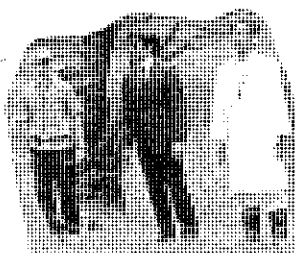
発団60周年記念キャンポリーは、4(土)～6(月)まで、BVS・CS・BSスカウト、各隊指導者、団委員、育成会員、保護者・家族など、約100名参加

・2012/8/3(金)初日
7時50分等々力駅総合支所前集合

8時20分保護者の見送りを受け、バスが玉川神社前を出発
永福から高遠に入る
神田副長のガイドで新企画、他己紹介 みな上手に隣のスカウトの好きな食べ物、得意な科目の紹介ができました
談合坂SAで休憩し、追突事故の車を見て、甲府南ICで降り、11時に大門碑林公園に到着

標高300m 炎天のもと、木陰でカブ弁当を食べる
12時清水副長先頭に登山始める
途中一時体調不調のスカウト3名

のろし合で大休憩、15時標高985mの四尾連湖
児玉さんの尽力を得て、全員無事15時半四尾連湖水明荘着
バスが運んだ大ザックをロッジの各部屋に入れる



カブ副長 清水恵子

今年の夏季舎営は「+60周年キャンポリー」というかたちでおこなわれました。

が！いつもの隊舎営同様の企画をぜひ、との隊長指示…

昨年も同じ四尾連湖で舎営を行ったカブ隊ですが、今年も同じように歩いて四尾連湖へ向かい、同じようにメイン企画の？きもだめしや追跡ハイクやその他のプログラムをこなし、その上キャンポリーも楽しんじゃう、メガ盛り日程となりました。

企画は多いのに、人手は多くなく、全ての副長に何役も兼ねていただき、

どうにか濃密な4日間を乗り切ることができました。

一瞬だったけど、強面の男性副長と隊長までがDLとしてズラリと並んだ時は、すごい迫力でした(^_^)

人手が少なくなつて、やるからにはどの企画だって「去年と同じ～」と言われないようにしなくては！

反省などふまえて仕込みをしながら、「これはスカウトが喜んでくれるだろう」と思うとリーダー達は自然と笑顔に(^_^)

決して二番煎じではありません、念のため。

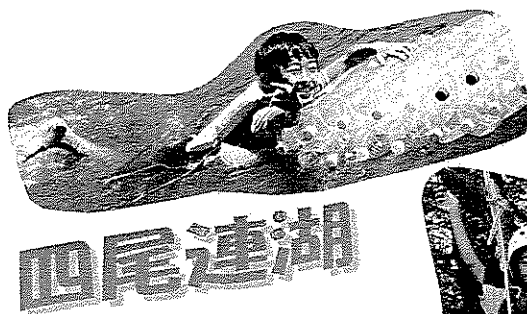
夏季舎営という大きな企画を担当するのは初めてのことで、準備の段階から何度もめげそうになりましたが、隊長・リーダーの方にはその度励まされたり、手を貸していただいたり、

その働きぶりに「私もこうしてはられない」と奮い立たせられたり、いろいろに助けていただきました。

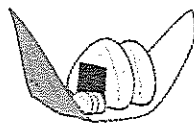
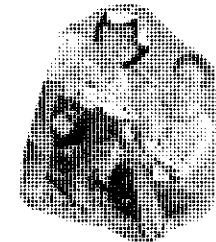
ご参加くださった保護者の皆さまにも大変にお世話になりました。ありがとうございました。

キャンポリー実行委員の皆さま、長い長い準備、お疲れさまでした。

大人の私にも思い出となるキャンポリーでした！(^o^)/



四尾連湖



制服に着替えて、16時開村式

18時テラスで夕食

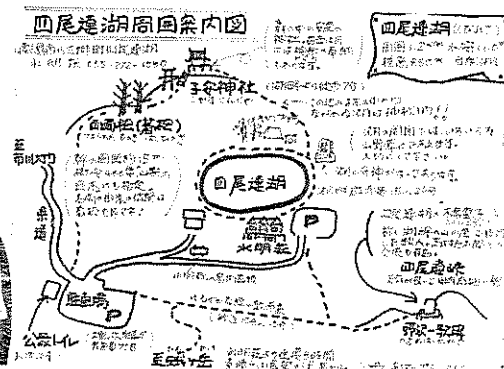
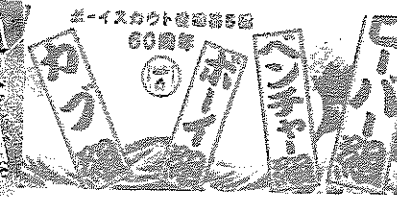
お風呂に入る

19時45分星空観察、夏の大三角形、春の大曲線がよく見える

日記を書き、イエローパー会議をして、21時消灯

くまスカウトは、テント設営に對岸へ

飯田RS副長が指導してくれる



キャンポリー総務 神田雅代

キャンポリーが無事に終了しました。皆様のご協力の賜物です。本当にありがとうございました。しびれ湖の名前を初めて聞いたのは、約二年前。そこから準備がぼちぼち始まりました。通常活動の上なので、なかなか面倒くさい大変な企画です。「なんでやんなきゃいけないのだろう？」からのスタートでしたので感慨無量です。

でもよくよく考えてみると、この企画は、20年前に山田少年がスカウトの制服に憧れ入団した時、いえ、40年以上前に、花俣少年が入った時に、いえいえ、60年前に横山少年(!)が入った時からプログラミングされていたことなのかも…。

しかし、履行されるには多くの人達の気持ちと、努力の重なりがあつてこそです。

今回の『60周年キャンポリー』の場面でも、沢山の暖かい、熱い気持ちをみることができました。挙げればきりがありません。あえて、一番感動したことは、あるスカウトがしんどさを乗り越えて一回り大きくなるシーンに立ち会えたことです。共同生活と連日ハードワーク、重ねて、小さな子達をサポートするのに疲れ半泣き状態。折れそうな心と戦い、もうひとがんばりました。その結果、賞を獲得。やりきった満足げな笑顔で終えることができました。

そのような成長の場を少年に与えて続けてくれる活動は、学校でもなく、塾などの営利活動でもなく、ボランティアで支えるという奇跡の歴史でもあります。

「キャンポリーは、なんのためにやるのでしょうか？」

その答えのひとつは、ここにあると思います。ボランティア精神と、なによりスカウティングスピリッツを団で共有する体験。スカウト、リーダー、そして保護者が気持ちをひとつにする体験が、歴史の継続に必要と理解しました。

スカウトにとって、また同時に大人にとっても、居心地の良い、成長が促される「巣」であり続けることを願います。

ほんとうにありがとうございました。

カブ副長 小針宏明

けっこうみんな、うまいじゃない。ちゃんと浮いてるし、前に進んでる！」

事前に尾山台小で大人だけでテストした時には、直ぐ沈んでしまい、この先どうなることかと大いに心配した“ペットボトルいかだ”であったが、

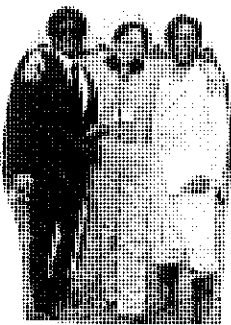
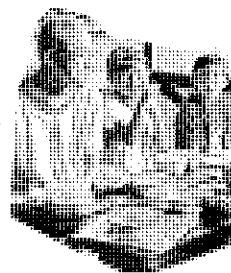
その後、デザインの工夫(という手抜き)をして、とりあえずこの選択プログラムも何とか格好がついて無事終えることができました。

そうはいっても、午前の組は、いかだの制作にかかった時間が、湖での実演のなんと X 倍。午後の組は、その反省を踏まえ、既に出来ているいかだは修復だけにとどめ、

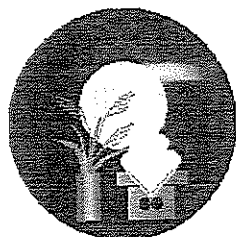
おかげで、ちょっとしたレースもできました。

多くの皆様のご協力を得て、なんと2Lのペットボトルを500個も集めることができ、本当にありがとうございました。

使ったいかだは最後は全て解体しペットボトルもつぶしてリサイクルごみとして引き取って頂きました。



9月 活動予定



ビーバー隊

- 9月2日(日) 団行事 入隊式、上進式

集合 9:00 奥沢区民センター 制服正帽



解散 12:00 奥沢区民センター

持ち物 制服制帽着衣(特にネッチを忘れずに!)

ビーバーノート、筆記用具、ハンカチ、ポケットティッシュ

※カブ隊に上進するスカウトもビーバー隊の制服着用です。

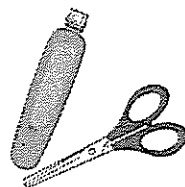
- 9月23日(日) 隊集会 基本動作・工作[シーターボン]

集合 9:00 奥沢駅噴水広場 制服正帽

解散 12:00 奥沢駅噴水広場

持ち物 制服制帽着衣(特にネッチを忘れずに!)

ビーバーノート、雨具、水筒、筆記用具、ハンカチ、ポケットティッシュ、



カブ隊

- 9月2日(日) 隊集会 上進式

集合 9:00 奥沢区民センター(奥沢駅)



解散 12:00 同上

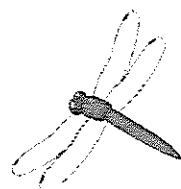
制服正帽 持ち物 7つ道具、水筒

- 9月23日(日) 組集会 てくたくハイク

集合 9:00 九品仏交番裏

解散 12:00 同上

制服正帽 持ち物 7つ道具、水筒、てくたくぶっく(ある人)



雨のとき

集合 9:30 奥沢東地区会館(奥沢駅北)

解散 12:00 同上

制服正帽 持ち物 7つ道具、水筒



- 10月1日(月) 組集会 赤い羽根共同募金

集合 7:30 上野毛駅 組、等々力駅 組、尾山台駅 組、九品仏駅 組

解散 9:00 同上

制服正帽 持ち物 水筒



○リーダー会議 9/15(土)19:00-21:50 奥沢地区会館③(九品仏駅)

ボーイ隊

- 9月2日(日) 上進式

集合 8:50 奥沢区民センター

制服正帽、七つ道具



*倉庫整理

集合 14:00 尾山台小学校職員通用門

解散 17:00予定

作業服、副帽、ネッカチーフ

- 9月15日(土) 子供神輿巡行奉仕

集合 13:30 等々力駅改札口前

解散 18:00予定

制服正帽、七つ道具、タオル



- 9月23日(日) 隊集会@多摩川河川敷

集合 8:30 等々力駅集合

解散 15:00予定

制服副帽、七つ道具、弁当



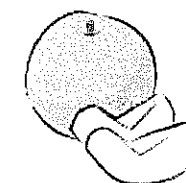
ベンチャー隊

- 9月2日(日) 上進式 奥沢区民センター

- 隊集会

- 水泳草講習会

- 世田谷地区ベンチャーフォーラム



会議予定・他

8月24日(金) 団会議・団委員会 19:00~ 尾山台地区会館第1会議
団補助、来期リーダー編成

8月31日(金) 活動計画、予算提出日

9月2日(土) 上進式 9:00~ 奥沢区民センター第1会議
活動報告、決算書提出

9月6日(木) 団会議・団委員会 20:00~ 奥沢地区会館第1会議室

9月10日(月) 団委員会 20:00~ 尾山台地区会館第1会議室

9月28日(金) 広報委員会(さくら編集) 9:00~ 尾山台地区会館第1会議室
総会 奥沢区民センター第1会議室



育成会活動報告・予定

8月4、5日 キャンボリー奉仕(バーベキュー、フードコート担当)

9月2日(日) 会計監査 奥沢区民センター第3会議室(和室)

9月24日(月) 13:00~ 等々力出張所印刷室 総会資料印刷、育成会役員会
育成会総会



今月は活動費の集金月です。
9/1~9/10迄に振込をお願いいたします。

キャンポリー、楽しんで来ました！

ビーバー隊

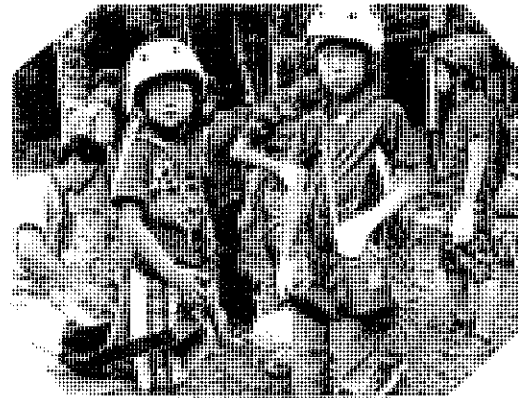
ビーバーインタビュー

湖の飛び込みが楽しかった。 []

山からヤッホーが楽しかった。 []

ツリークライミング 楽しかった []

水泳 水鉄砲 プログラム 楽しかった []



ほくは、たのしかったことが、2こあります。1つは、ツリークライミングです。いちばんたかい木にのぼりました。でも、こわくて、したをみませんでした。2つめは、きもだめしです。おぼけより、かえりみちのガケのほうが、こわかったです []



水泳、水鉄砲報告文

ビーバー隊 隊長 保科 潔

キャンポリー選択プログラム、ビーバー隊は水泳・水鉄砲を午前、午後担当しました。

プログラムの内容を報告します。

準備体操の後、リーダーがライフジャケット無しのスカウトをロープで誘導して、湖が急に深くなる事を確認。ライフジャケットの着用後、湖畔で班対抗水泳リレー、浮き桟橋とローポート2艇を使った水鉄砲的当てゲーム、ローポート同士の水鉄砲艦隊決戦。最後に湖の真ん中から岸に向かってスカウト全員が泳ぎました。

天気にもまれ最高に楽しい時間でした。皆様、ありがとうございました。



第11回日本アグーナリー

ローバー隊 江崎 広也

みなさんはアグーナリーを知っていますか？ アグーナリーというのは、国際障がい者キャンポリーと言われており、4年に1回障がいを持つスカウト(もちろん健常者のスカウトも参加可能)が日本全国、海外(今回はオーストラリア隊とシンガポール隊が参加)から集まってキャンプをするものです。今規模は700人と少ないですが大会はとても素晴らしいものでした、

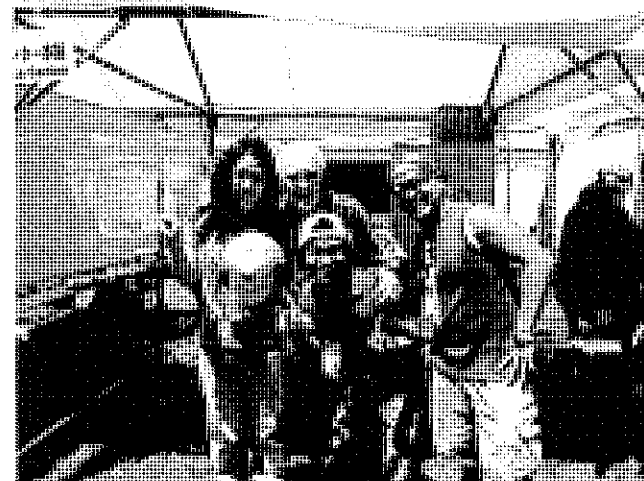
今回僕はそこに奉仕隊として参加しました。このキャンプでも素晴らしい経験ができたのは言うまでもありません。特に僕はバディの子が障がいを持っており、正直言って大変でした。しかし彼は次第に僕に心を開いてくれて僕自身も彼から多くのことを学ぶことができました。この学んだことは言葉では表現できないものです。難しいことはたくさんありますが、でもそれをどうすればいいのかわかるのではなく自分なりに彼と接することで心を開いてくれる。難しく考えることはないと思います。

また僕たちが奉仕の行った隊には聴覚障がいを持つスカウトがいました。もちろん彼は手話等を使って会話をします。しかし僕は手話をする事ができません。もしみなさんがこのような状況になればどのようにして会話をしますか？僕はボディランゲージを使って彼と会話をしました。始めはお互い言いたいことがうまく伝わらず苦労したことは確かです。しかし慣れてくるとおもしろいくらいにお互いの言いたいことがわかるのです。もちろん僕が手話をできるようになりたいと思ったのは言うまでもないです。

僕自身まだまだわからないことはたくさんあります。しかし今回思ったことは、彼らに対して壁を作っているのは自分たちなのではないか、難しく考える必要はまったくない、ということです。

また今回も素晴らしい出会いがたくさんできました。これも全国規模の大会の醍醐味かもしれません。その中でも特に印象に残った出会いがあります。その人は障がいを持つ方ではありません。しかし僕たちスカウトが必ず知っている方のお孫さんです。その方の名前は Honorable Michel Baden-Powel. そうボーイスカウトを作ったベーデン・パウエル卿のお孫さんです。

僕自身は今後も障がいを持つスカウトとの交流を続けていくと共に、もっと様々なことを知っていくことが大切だと考えています。



後方中央がパウエル氏

・2012/8/5(日)3日目 キャンポリー2日目
本日も朝から快晴

6時半起床、7時朝礼、7時半朝食

選択プロ 蛾ヶ岳ハイキング は8時半出発

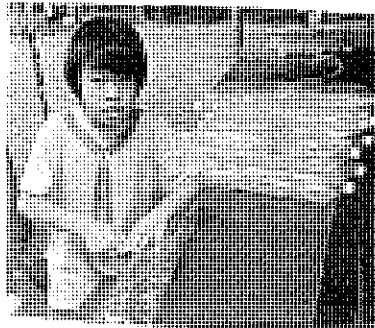
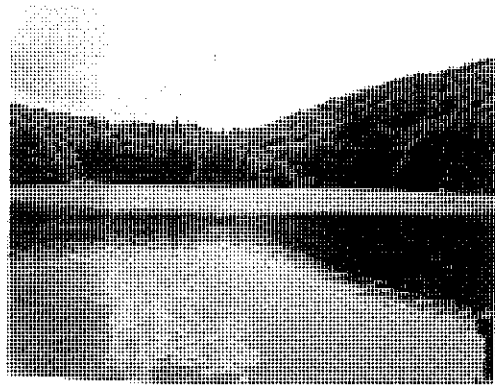
対岸で、9時全体朝礼 インディアン登場
9時半選択プログラム開始

蛾ヶ岳ハイキング、標高1279m、馬の背を通り、最後の急坂を登って、全員登頂
ペットボトルいかだ、7人分の7そう作りしました なんとか乗りました

12時フードコート 前夜のバーベキューに続き、育成会保護者のご尽力に感謝
焼きそばはじめ、たくさんの料理に皆大満足
14時午後の選択プログラム ハイキングを除く4種目に挑戦

16時半終了、風呂に入って、夕食のカレーを食べる

19時営火 記念の手ぬぐいを頭に巻き、羽根をさして入場
いつものカブ隊営火とは違い、団営火は大迫力でした
BS副長によるスタンプが次々と飛び出し、
中でも、真のインディアン、真のスカウトのスタンプには、皆びっくり
カブ隊のスタンプでは、1組がもっとも素晴らしい
20時半終了、日記を書き、イエローパー会議をして、21時半消灯



3組 DL 中屋浩一

夏季舎営は半分しか参加できずに3組のスカウトくんはじめ皆様にはご迷惑をおかけしました。キャンプファイヤーで真のスカウトを見ることができてとても興味深かったです(笑)。私は役不足のDLでしたが、今回3組が最優秀組に選ばれたことは大変うれしく思いました。

3組 くま

ぼくは今まで鹿から熊までやってきましたが、今年が一番楽しいキャンプでした。もうボーイに進化するけど、あとわずかがんばりたいです。

3組 しか

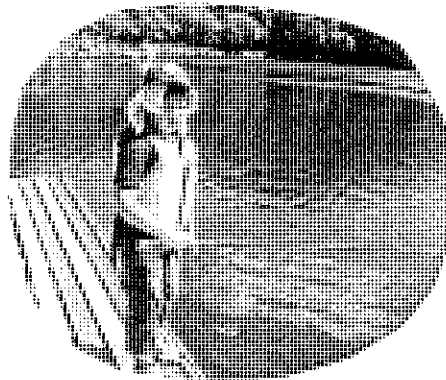
せっかくプログラムでは、ツリークライミングと釣りをしました。
ツリークライミングでは、一番高い木に登って金の羽をもらいました。
釣りでは、ただ待っているだけで魚は一匹もつれませんでした。
でも、キャンプの最後に賞品がもらえたのが、ちょっとだけ嬉しかったです。

3組 うさぎ

ぼくは、しびれこっしーがむかしたと聞いたのでびっくりしました。
しびれこっしーに会いたかったです。

3組 うさぎ

ぼくは初めての参加でした。寝袋で寝ることが楽しみでした。クワガタをぐうぜん見付けられたのはうれしかったです。でも挟まれたのは痛かったです。



4組 くま

楽しかったことがたくさんあります。
キャンプファイヤーのみんなのスタンプが面白かったです。
せんとくプログラムで午前に行ったペットボトルいかだは浮かんで楽しかったし、午後の水泳は、陸の近くまで泳いだのが楽しかったです。

4組 しか

僕は舎営が今回初めて参加でしたが、きもだめしも楽しかったし、
キャンポリーでの様々なプログラムができてとても楽しかったです。

4組 しか

ぼくは、キャンポリーで羽根を三枚集めたので商品もらい、うれしかったです。また羽根を集めて商品がもらえるように頑張りたいです。

ぼくは、魚つりとペットボトルいかだをやりました。

魚は一匹もつれなかったけど楽しかったです。

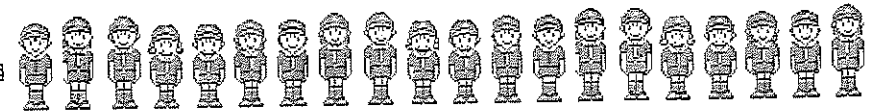
ペットボトルいかだは、うまく乗れなかったので、またチャレンジしたいです。色々な事が出来て楽しかったから、また行きたいです。

4組 うさぎ

一番楽しかった事は全体ゲームのからだで表げんする伝言ゲームとツリークライミングです。高い木からは遠くが見えて気持ちよかったです。



・2012/8/6(月)4日目 キャンポリー3日目
朝は、小雨



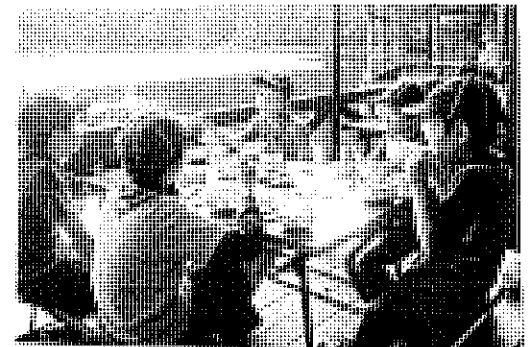
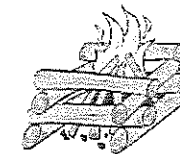
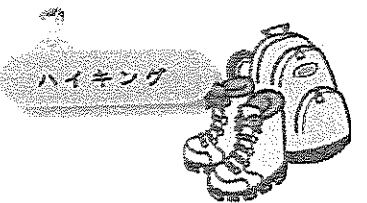
6時半起床、7時カッパを着て朝礼 雨がやむ、7時半朝食
荷物整理と部屋掃除、とにかく大ザックと小ザックにすべての荷物を詰め込む

9時対岸で全体朝礼、忘れ物した人にやさしく厳重注意、未来人登場

朝雨だったので、湖一周じゃけんりレーは、別プロに

13時10分開村式 表彰も行いました
最優秀組は 3組 舎営中の総合点で1位 赤峰組長もがんばりました
最優秀スカウトは 1組嶋田君 年間を通して最も、まじめにしっかりやりました
がんばったで章は 4組保科君 うさぎながら、がんばりました

記念撮影をして、14時バスに乗車、ビーバー隊、ボーイ隊も一緒に満席
談合坂SAで、こずかい千円でおみやげを買う 大いに考えて予定より10分超過
ドラえものの映画をみながら、18時前玉川神社前到着



・2012/8/4(土)2日目 キャンボリー初日
標高885mなので、窓を開けて寝ると寒いくらい
今日も朝からよい天気
6時半起床、まだ2日目なので、5時から外を歩き回るスカウトが数名
7時朝礼、三園副長先頭に四尾連湖1/3周の走り

7時半作業着に着替えて、カンガルトーストの朝食
このところ何回も作っているの、黒こげになることなし
朝5時東京発で、リーダー3人が到着
くまスカウトは、テントの撤営に対岸に
9時花鳥観察 組毎に、観察した花、鳥、昆虫を付箋に書き、画用紙に張りました
結果、3組が一番充実していて、優勝

12時までの間で、追跡ハイク 組毎に15分間隔で出発しました
指令書に従い、追跡サインをみつけて、目標に向け歩きました
中村副長企画のテーマは、"ビックス粒子を探せ" (ヒッグス粒子ではありません)
各組とも目標のビックスあめ玉に到達しました
所要時間、縄結び、歌の総合点で、2組が優勝でした

12時昼食 牛丼と冷麦でした

制服に着替えて、対岸で行われるキャンボリー開村式へ
ビーバー隊等を乗せたバスが大渋滞で遅れ、13時45分開村式
澤育成会長、花俣団委員長、神田総務担当挨拶

1組 DL 三園真也

湖の冷たさや山道を踏みしめる感触、焚き火の迫力や真っ暗な夜道の怖さ。
TV やゲームには無いリアルな感動体験を通スカウト達も遅くなったと思います。

1組 くま

ぼくが一番心に残った事は、蛭が岳ハイクとキャンプファイヤーです。蛭が岳はきつかったけど、
頂上からの景色が最高でした。キャンプファイヤーのスタンプは1組のみみんなでしっかりとやること
ができました。

カブスカウト最後の活動でとても良い思い出になりました。

1組 しか

キレイな湖で泳げたこと、虫とりしたこと、全部楽しかったです！

1組 しか 竹葉彦

最初の山登りは途中で頭が痛くなり、かなり大変でした。遅れをとってしまったけれど、のろし台で
何とか追いつきました。四尾連湖に着いた時は山登りの達成感とこれから始まるキャンプのワクワク
感で嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

ビーバー

一番楽しかったのはキャンプファイヤーでした。ビーバースカウトはトーンポールの組体操をし
ました。肩車が怖かったけど頑張りました。皆拍手してくれて嬉しかったです。

1組 うさぎ

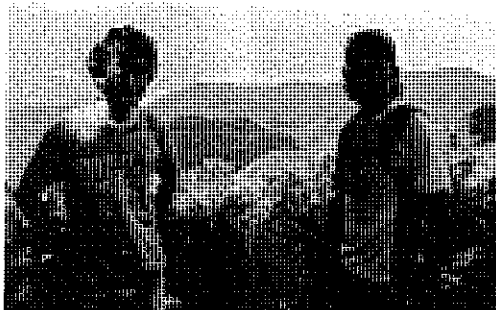
ぼくが一番楽しかったのはスタンプです。ぼくのいる 1組が一番だったし、はじめてのスタンプでう
まくってよかったなと思いました。

1組 うさぎ

ぼくがかきしゃえいで一番楽しかったことは、つりです。
がんばっても一ひきもつれなかったけど、大きなコイやブラックバスが見れたからです。

1組 うさぎ

3泊4日の夏期舎営に初めて参加しました。そして、ひるがたけハイクでしびれ湖を巡ることが出来
ました。ちょっと曇っていたけど綺麗でした。来年もまた参加したいです。



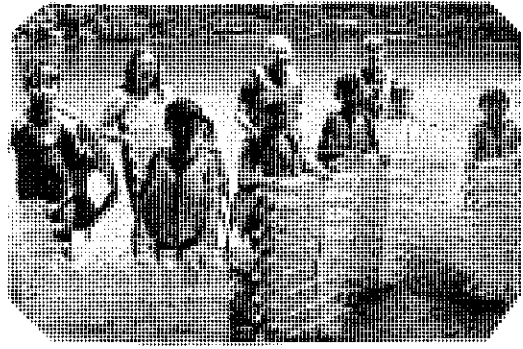
原始人登場、山田BS隊長が弓きりで着火
豚の丸焼き出現のアトラクションで大いに盛り上がる

その後全体ゲームへ
16時20分終了

お風呂に入り、17時半再び対岸のバーベキューへ
おいしいものをおなかいっぱい食べました
もちろん、豚の丸焼きも

19時きもだめし てづくりランタンを持ってこわくない道を歩く
一人で行くという、僕はこわくない スカウトから順次出発
一人は無理というスカウトは、二人で出発

今年は、泣き出して出発もできないというスカウトもいず、皆、元気にスタート
こわがりのスカウトは、途中、3人4人と団子になって進む
全員無事、ゴールの子安神社に到着
20時半終了 日記を書き、イエローパー会議をして、21時消灯



2組 DL 柳澤パトリシア

山に登って、登って、登って、疲れて、また登ってそれから、あれ、きれいな湖、四尾連湖、皆走る。
自分の部屋に入ってそれからいろんなイベントが始まる。一人でできる？一人の子供の日記に書
いてあった：ママとパパいなくてさびしいけど楽しい。子供と一緒にいて、私も子供になりました。
子供のときできなかったことができました。私は最後までいられなかったけど、帰るときは寂しかった。
皆ありがとう四尾連湖ありがとう。またね

2組 くま

ぼくは3泊4日のキャンプに行って、山に登ったり、全体のキャンボリーなどをしました。去年とは
いろいろとちがうところがあったけど、楽しく出来たので良かったです。

2組 くま

カブに入って、すぐにしびれ湖に行く聞いてびっくりしました。でも、しびれ湖では友達も増えて
気の合う子もいたので、また行きたいです。
次行くときはボーイで、カブのみんなどはもう行けないけど、一緒に上進する友達がいるので安心
です。

2組 しか

8月3日から四尾連湖で60周年キャンボリーが始まりました。1日目はいきなり山登りでクタクタ
でしたが、夜の星空観察で流れ星を見た時は最高でした。2日目はキャンボリーで原始人と遊び、
夜には肝試しがあり、今年は意外と怖くてビビってしまいました。またスタンプが失敗し残念でした。
最優しゅう組をのがしたけれど楽しい4日間でした。

2組 しか

一日目、大門碑林公園でお昼ご飯を食べた後、出発前まで遊びました。暑かったけど楽しかった
です。でも山登りは山道がガタガタしてとても厳しかったです。山登りだけで、ほとんど一日がすぎ
ちやいました。二日目はきもだめしが一番楽しかったです。オバケがバンバン出てきたかです。三
日目は水遊びのプログラムが楽しかったです。あともう少しで、向こう岸まで泳げました。ざんねん
ながら水の中はにごって見れませんでした。

2組 しか

二日間しか参加できなかったけどとてもおもしろかったです。とくに選択プログラム(ツリークライ
ミングとペットボトルいかだ)がおもしろかったです。インディアンたいそうや未来人たいそうもおも
ろかったです。またしびれ湖に行きたいと思います。

2組 うさぎ 「楽しかったカブ隊」

ペットボトルいかだはふだん出来ないし乗るなんてそうぞうもつかないから楽しみでした。
作るのに2時間かかり大変でした。湖はどろ水でしたがペットボトルに乗れたうれしい気持ちで
どろ水なんかへっちゃらでした。楽しかったです。